

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱ケミカル株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル	
本票作成	部署名：三菱ケミカル株式会社 水島事業所 企画管理部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	三菱ケミカル株式会社 水島事業所		倉敷市潮通3丁目10番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 24 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 29 年度)
	1,105,786 t CO <sub>2</sub>	492,761 t CO <sub>2</sub>	1,105,786 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	三菱ケミカル株式会社 水島事業所	492,761 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 25 年度 ～ 平成 29 年度 ( 5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	55.4 %	0.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 )年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度のCO<sub>2</sub>削減施策については、予定通り実行した。</li> <li>平成28年4月1日より、三菱ケミカル旭化成エチレン社(三菱ケミカルと旭化成により設立)にエチレンプラントを移管。 結果、三菱ケミカル水島事業所のCO<sub>2</sub>排出量は大幅に減少する事となった。</li> <li>結果、エチレンベンチマーク指標の対象事業所からは除外されている。</li> </ul>
---

**【推進体制】**

- ・推進体制：水島事業所組織に順ずる
- ・ISO14001認定取得：2000/03
- ・水島事業所RCレポート発行：2004年度～毎年

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
三菱ケミカル株式会社水島事業所	<p>&lt;平成29年度に実施した措置&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香族製造装置 低温廃熱有効利用による省エネ</li> <li>・芳香族製造装置 高効率冷水塔への集約化による省エネ</li> <li>・溶剤製造装置 原料調達見直しによる省エネ</li> </ul> <p>&lt;今後実施予定分&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素製造装置 原料空気圧縮機更新による省エネ</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- 商品の普及により世の中の温室効果ガス削減に貢献できる製品として、
  - ・白色LED用窒化ガリウム基板の運転継続中
- その他情報
  - ・石油系タールピッチ由来のCO<sub>2</sub>（温対法の算定対象活動・区分に該当しない）が、303(千tCO<sub>2</sub>)発生している。
- 冷暖房設備の使用電力削減のために、クールビズ・ウォームビズ運動に積極的に取り組み中